

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 ウェーブブロックホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7940 URL http://www.wavelock-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 木根 純
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 石原 智憲 TEL 03 (6830) 6000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,728	1.3	1,241	1.8	1,197	△1.1	790	△8.8
2020年3月期第3四半期	21,439	0.4	1,218	0.3	1,210	△20.3	867	△23.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 788百万円 (△1.1%) 2020年3月期第3四半期 797百万円 (△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	81.21	80.86
2020年3月期第3四半期	90.99	90.13

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託 (BBT) の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,331	12,699	44.7
2020年3月期	29,144	12,078	41.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,667百万円 2020年3月期 12,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△0.9	1,600	△1.4	1,580	△1.2	1,000	△9.8	102.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 2社（社名）ダイオ化成株式会社、日本ウェーブロック株式会社

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,120,538株	2020年3月期	11,120,538株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,339,489株	2020年3月期	1,580,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	9,737,654株	2020年3月期3Q	9,535,033株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信と同時にT D n e t で開示しており、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内においても4月に緊急事態宣言が発出され、飲食店等の一部事業者への休業要請や個人の外出自粛等により、個人消費は大幅に落ち込み、景気は急速に悪化しました。その後、緊急事態宣言は解除され、経済活動が徐々に再開されたことによって景気回復の兆しはありましたが、新型コロナウイルス感染症の第3波とされる拡大に歯止めがかからず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新型コロナウイルスの社内外での感染拡大防止を最優先とする一方、単に目の前で起こっている変化への対応以上に、中長期的視点から、新型コロナウイルス感染拡大により起こりつつある社会のパラダイムシフトとともに今後明らかになるであろう『残れるビジネス』、『残れないビジネス』、『新たに生まれるビジネス』を的確に見極め、会社自体を早急にシフトするための各種取り組みに注力してまいりました。

この結果、当社グループ全体の売上高は217億28百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は12億41百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益は11億97百万円（前年同期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億90百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの経営成績は以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(インテリア事業)

インテリア事業については、新型コロナウイルス感染拡大による建設工事中断等の影響を受け、壁紙市場全体が落ち込む中、機能性量産壁紙の市場浸透等により量産品の販売が健闘しました。一方、比較的利益率の高い中級品の販売が大きく落ち込み、また、利益率改善のための各種取り組みに努めたものの、売上高は69億21百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は5億87百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

(マテリアルソリューション事業)

マテリアルソリューション事業については、リビングソリューション分野において、ホームセンター向け園芸用品、張替用防虫網およびその関連用品等が、新型コロナウイルス感染拡大を背景にした巣籠り需要の増加や換気意識の高まり等により、継続的に売上を大きく伸ばしました。ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション分野においては、飛沫感染防止用透明シート等の新型コロナウイルス感染防止関連製品として、防炎性能を有する製品を投入・改良し、継続的に更なる需要の取り込みを図りました。一方で、その他の製品においては、建設工事に代表される各種経済活動が中断、もしくは、大幅縮小した結果、販売は低迷しました。パッケージングソリューション分野においても、持ち帰り用の食品容器は堅調に推移したものの、ミルクポーション等の飲食店向け用途が低調に推移しました。アグリソリューション分野においては、新型コロナウイルス感染拡大による先行き不透明感から国内農業における投資意欲の後退等もあり、需要が落ち込みました。この結果、事業全体の売上高は119億34百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は9億61百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

(アドバンステクノロジー事業)

アドバンステクノロジー事業については、ディスプレイ用拡散板の販売が大幅に増加しました。一方、海外での販売、特に自動車関連の売上が大きい金属調加飾フィルム分野において、経済活動が再開した中国市場や、ロックダウン解除後のインドにおいては、需要が回復してきているものの、国内を含むその他の地域においては、新型コロナウイルス感染拡大による大幅な落ち込みからは未だ回復の途上にあり、国内外で販売が大きく落ち込みました。また、PMMA/PC二層シート分野においても、自動車用ナビゲーションシステム用途において新規案件獲得等の成果が順調にあったものの、スマートフォン用途から撤退したことに伴う落ち込みをカバーするに至りませんでした。この結果、事業全体の売上高は31億71百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期比64.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は157億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億27百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億41百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が8億63百万円、商品及び製品が2億50百万円減少したことによるものであります。固定資産は125億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が1億12百万円、有形固定資産が42百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、283億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億13百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は98億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億38百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が2億67百万円、未払法人税等が3億84百万円、賞与引当金が2億65百万円減少したものの、短期借入金が12億円増加したことによるものであります。固定負債は57億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億72百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が16億77百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、156億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億34百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は126億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億21百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が4億99百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.7%（前連結会計年度末は41.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月14日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,367,815	2,708,914
受取手形及び売掛金	7,406,215	6,542,978
商品及び製品	4,674,448	4,424,052
仕掛品	388,622	408,444
原材料及び貯蔵品	1,282,332	1,262,028
その他	316,862	464,762
貸倒引当金	△16,155	△18,363
流動資産合計	16,420,143	15,792,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,543,912	3,428,385
機械装置及び運搬具（純額）	1,684,474	1,790,306
土地	5,353,118	5,353,118
建設仮勘定	142,853	134,430
その他（純額）	339,745	315,088
有形固定資産合計	11,064,103	11,021,329
無形固定資産		
投資その他の資産	318,649	287,544
投資有価証券	114,838	104,082
その他	1,249,998	1,148,518
貸倒引当金	△22,792	△22,702
投資その他の資産合計	1,342,044	1,229,898
固定資産合計	12,724,797	12,538,772
資産合計	29,144,940	28,331,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,335,664	4,280,875
短期借入金	350,000	1,550,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	2,670,208	2,402,395
未払法人税等	387,893	3,393
賞与引当金	489,612	224,178
その他	1,337,066	1,347,729
流動負債合計	9,630,444	9,868,573
固定負債		
社債	60,000	—
長期借入金	4,851,820	3,173,995
株式給付引当金	14,882	18,877
退職給付に係る負債	2,232,092	2,288,714
資産除去債務	66,766	66,778
その他	210,894	215,411
固定負債合計	7,436,456	5,763,777
負債合計	17,066,901	15,632,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,185,040	2,185,040
資本剰余金	775,122	744,247
利益剰余金	10,035,954	10,535,315
自己株式	△1,055,305	△896,828
株主資本合計	11,940,810	12,567,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,142	13,839
為替換算調整勘定	88,752	84,724
退職給付に係る調整累計額	4,848	1,194
その他の包括利益累計額合計	109,743	99,758
新株予約権	5,361	2,358
非支配株主持分	22,123	29,349
純資産合計	12,078,039	12,699,240
負債純資産合計	29,144,940	28,331,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	21,439,957	21,728,953
売上原価	16,187,787	16,410,625
売上総利益	5,252,169	5,318,327
販売費及び一般管理費	4,033,193	4,077,036
営業利益	1,218,976	1,241,291
営業外収益		
受取利息	3,512	3,072
受取配当金	3,925	536
負ののれん償却額	18,160	—
持分法による投資利益	—	393
その他	62,880	55,855
営業外収益合計	88,478	59,858
営業外費用		
支払利息	54,452	44,875
為替差損	9,600	30,785
持分法による投資損失	39	—
その他	32,852	28,460
営業外費用合計	96,945	104,121
経常利益	1,210,509	1,197,028
特別利益		
固定資産売却益	5,179	368
投資有価証券売却益	75,952	11,349
新株予約権戻入益	—	1,755
特別利益合計	81,132	13,472
特別損失		
固定資産除却損	2,200	20,410
特別損失合計	2,200	20,410
税金等調整前四半期純利益	1,289,441	1,190,091
法人税、住民税及び事業税	412,020	269,841
法人税等調整額	5,848	122,062
法人税等合計	417,868	391,903
四半期純利益	871,572	798,187
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,008	7,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	867,564	790,841

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	871,572	798,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,693	△2,303
為替換算調整勘定	△28,961	△3,743
退職給付に係る調整額	23,241	△3,653
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,937	△404
その他の包括利益合計	△74,350	△10,104
四半期包括利益	797,222	788,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794,616	780,856
非支配株主に係る四半期包括利益	2,605	7,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったダイオ化成株式会社および日本ウェーブロック株式会社は、株式会社イノボックスを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(株式給付信託について)

当社は、取締役、執行役員および一部子会社の一部取締役(社外取締役を除きます。以下「取締役等」といいます。)の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役等が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として取締役等に対して株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が定めた役員株式給付規程に基づき取締役等にポイントを付与し、退任時に受益者要件を満たした取締役等に対して、付与されたポイント数に応じた当社株式を給付します。ただし、取締役等が役員株式給付規程に定める要件を満たす場合には、ポイントの一定割合について、当社株式の給付に代えて、当社株式の時価相当の金銭を給付します。取締役等に対し給付する株式については、予め当社が信託設定した金銭により信託銀行が将来給付分も含め取得し、信託財産として分割管理するものといたします。

(2) 信託に残存する自己株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。

また、当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度58,508千円、56,475株、当第3四半期連結会計期間56,954千円、54,975株であります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インテリア	マテリアル ソリューション	アドバンスト テクノロジー			
売上高						
外部顧客への売上高	6,864,621	11,888,196	2,687,138	21,439,957	—	21,439,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	342,090	106,754	8,214	457,058	△457,058	—
計	7,206,712	11,994,951	2,695,352	21,897,016	△457,058	21,439,957
セグメント利益	640,594	757,643	202,660	1,600,897	△381,921	1,218,976

(注) 1. セグメント利益については、セグメント間取引消去2,191千円、事業セグメントに配分されていない当社の損益△384,113千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インテリア	マテリアル ソリューション	アドバンスト テクノロジー			
売上高						
外部顧客への売上高	6,711,690	11,864,443	3,152,819	21,728,953	—	21,728,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,314	70,377	18,411	298,102	△298,102	—
計	6,921,004	11,934,820	3,171,230	22,027,056	△298,102	21,728,953
セグメント利益	587,557	961,518	71,047	1,620,123	△378,831	1,241,291

(注) 1. セグメント利益については、セグメント間取引消去237千円、事業セグメントに配分されていない当社の損益△379,069千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。